

常金丸学区 まちづくり計画

～このまちに住んでよかった常金丸～



常金丸学区まちづくり推進委員会

～まちづくり推進事業～



わがまちウォーキング



常金丸学区夏まつり



常金丸学区ふれあいまつり



常金丸学区親睦運動会



常金丸学区一周駅伝



災害時避難支援並びに防災訓練

目 次

1. はじめに	
2. 計画策定の目的	1
3. 「協働のまちづくり」とは	2
4. 常金丸学区の概要	
(1) 常金丸の地勢	
(2) 常金丸の歴史	3
(3) 常金丸学区自治会別世帯数と世帯構成状況	
(4) 常金丸学区の人口の推移	4
(5) 常金丸学区民の年齢構成	
(6) 常金丸学区内児童数、生徒数の推移	
(7) 常金丸学区内の公共施設	5
5. アンケート調査及び地域別住民学習会から見た現状と課題	
(1) 常金丸学区の現状	
(2) 常金丸学区の課題	
(3) 早急に取り組むべき課題	6
(4) アンケート調査からの意見	
6. 常金丸学区の将来像	8
7. まちづくり計画策定の基本方針と分野別まちづくり計画	
(1) 福祉・生活	9
(2) 安心・安全	
(3) 環境	11
(4) 活力・健康	12
(5) 教育・文化	
(6) その他	13
 【資料編】	
(1) 常金丸学区キーワードモデル事業の推移	14
(2) 常金丸学区まちづくりアンケート調査結果の報告	15
常金丸小学校4～6年生へのアンケート調査結果	
常金中学校1～2年生へのアンケート調査結果	
(3) まちづくり推進委員会構成団体	22

1. はじめに

常金丸学区のまちづくりは 2006 年度（平成 18 年度）に福山市が「第 1 次福山市協働のまちづくり計画」を策定されたのを契機として、従来より独自の活動が続けていたおよそ 20 の団体をもって常金丸学区まちづくり推進委員会が組織されました。

以来この委員会を中心として、明るく住みよい地域社会の創生をめざして地域の皆様の積極的なご協力のもとに活動を展開して参りました。

「住み慣れた地域で安心して安全に住み続けたい」これは学区住民が等しく願っていることですが、近年日本を取り巻く環境が著しく厳しくなって参りました。

少子高齢化社会、人口減少社会の到来が人間関係の希薄化や孤独化を浮きだたせ、また国、地方の厳しい財政状況は私たちが現在受けていると同様の市民サービスが今後とも継続的に受け続けられるかどうか予断を許さない状況を作り出しております。

この地域社会の変化は常金丸学区においても例外でなく、小中学校の児童数、生徒数の減少、空き家や耕作放棄地の増加といった点に顕著に表れております。

この現実を踏まえて、私たちはこの学区がどのような将来像を掲げて活動が続けてゆくのかを真剣に考えなければならない時期になりました。

幸いにも常金丸小学校・常金中学校の児童・生徒達はこのふるさとをこよなく愛し、ふるさとの自然、歴史、人々とのふれあい、地域がかかえている課題等の解決のためにはどのようにすればよいかと学習を進めています。

この子ども達が一旦ふるさとを離れても、「またふるさと常金丸に帰ってみようかな。」と思ってくれるようなふるさとづくりが、現在まちづくりにかかわっている私たちに課せられた使命であると思います。

この行動計画の成否は住民の皆様一人ひとりが、行動計画を理解し、いかに活動に参画していただくにかかっています。

皆様の積極的なご参加を心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画書の策定にあたり適切なご助言、ご指導を賜りました福山市関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

2015 年（平成 27 年） 3 月
常金丸学区まちづくり推進委員会

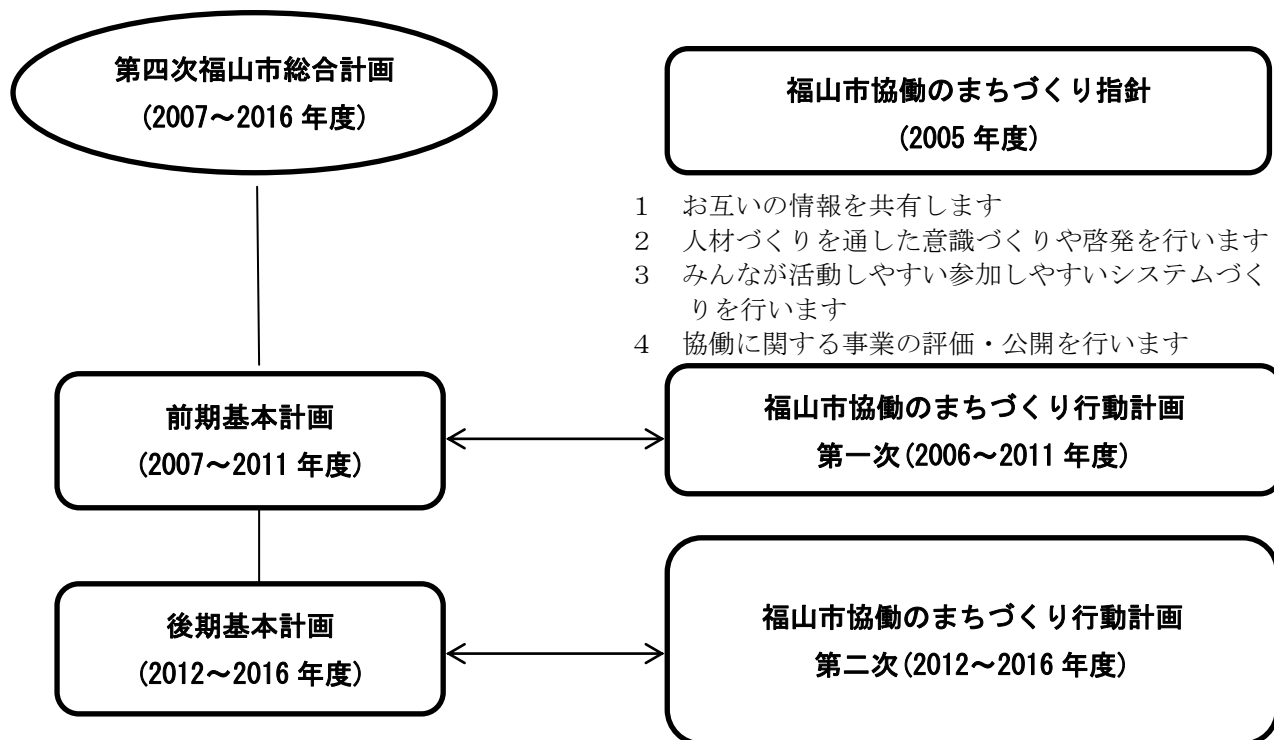
2. 計画策定の目的

福山市は市制施行100周年を迎える2016年度（平成28年度）に向けて、各学区がどのようなまちづくりを目指していくのか、そのためにはどのような取り組みが必要なのかを定めた「第2次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。

自分たちの住む地域の目指すべき将来像や現状、地域独自の課題等をみんなで出し合い、将来への道筋や解決方法をそこに住む住民自らが取りまとめ、住民が主体となって取り組む「活動の柱」となる計画です。

そこで、常金丸学区まちづくり推進委員会では、まちづくり行動計画策定委員会を立ち上げて、住民の皆様の意見や要望をお聞きするためにアンケートを実施することにしました。

このアンケートは幅広い年齢層のご意見を伺うために、二世帯同居の家庭に対しては2部、小中学校のご協力をいただいて、小学校4～6年生、中学校1～2年生に対してもアンケートを実施しました。



このアンケートの調査結果や、地域別住民学習会で皆様から提起された学区内の現状や解決すべき課題を踏まえて、短期・中期・長期的な展望に立ち、地域全体として取り組むべき行動計画を策定します。

各課題を推進する過程におきましては、社会経済情勢の変化や住民ニーズの変化に応じ、実情にあわせて適宜検討を重ねていきます。

住民一人ひとりが「まちづくりの主役」として、住民自治に備えた住民意識の確立のための一助になればと思っています。

3. 「協働のまちづくり」とは

福山市は第一次（２００６年）及び第二次（２０１２年）協働のまちづくり行動計画を示し、行政主導から住民一人ひとりがまちづくりの主役となるまちづくりをめざしてきました。

行政と地域住民がお互いに責任と役割を分担しながら「自助」「共助」「公助」によるまちづくりを行います。

住民活動の領域	← 協働の領域 →			行政活動の領域
住民主体	住民主導	対等協力	行政主導	行政主体
(自助)	(共助)			(公助)



4. 常金丸学区の概要

(1) 常金丸の地勢

常金丸学区は福山市の北部に位置し、神石高原町を源として芦田川に注ぐ清流神谷川の流域に沿って、約９００世帯・３，３００人が１４自治会を構成しております。福山藩の献上米として名を馳せた稲作や備後緋，繊維産業，菊栽培が人々の暮らしを支えてきました。

多くの中山間地域がそうであるように，少子高齢化の傾向が顕著であり，高齢化率は３０％を超え，小学校児童数も最多時の１／４の１５０人程度となってしまいました。

しかし，住民の人情は厚く，昔からの伝統行事を継承していくなかで人々は深い絆で結ばれています。



(2) 常金丸の歴史

昭和 23 年 (1948 年) に広島県史跡に指定された「宮脇石器遺跡」は旧石器時代、「芋平遺跡」は縄文時代から当地に人の営みがあったことを伝えています。

4～7 世紀ごろの尾市古墳 (芦浦) や権現古墳群 (金名) に見られるように金名・浅原・芦浦の南に面する高台に人々は住みついたと推察されます。

大化 2 年 (646 年) 国郡里の制がしかれ、この地方は備後国鞆田郡都祢 (つね) 郷と呼ばれたのが常の地名の始まりで、金丸の地名は田能城主、金丸氏に由来するといわれています。元和 5 年 (1619 年) 水野勝成が福山藩に入封した翌、元和 6 年 (1620 年) 常村を常村 1195 人と金丸村 1412 人に分村、明治 22 年 (1889 年) 両村が合併して常金丸村 (常 281 戸 1625 人、金丸 280 戸 1626 人)、昭和 30 年 (1955 年) 新市町、戸手村、網引村、常金丸村が合併 (藤尾村は昭和 34 年 (1959 年) に一部が編入合併) し新市町となりました。平成 15 年 (2003 年) 福山市との合併により、独自の自治体としての機能はなくなりましたが、福山市の常金丸学区として現在に至っています。

(3) 常金丸学区自治会別世帯数と世帯構成状況

	自治会名	戸数	1 人世帯	2 人世帯	3 人世帯	4 人以上
1	芦浦	9 1	1 3	2 9	2 1	2 8
2	志和井	9 9	1 7	2 7	1 2	4 3
3	砂原	3 6	6	1 2	8	1 0
4	平田	6 0	2	1 5	1 8	2 5
5	金名	1 4 0	1 3	4 1	3 2	5 4
6	浅原	8 4	6	1 9	1 7	4 2
7	森	1 5 2	1 7	3 6	4 0	5 9
8	向金丸	3 6	2	5	6	2 3
9	厚山	3 7	6	8	9	1 4
10	花屋	5 9	8	1 4	9	2 8
11	川井	4 0	3	1 4	1 0	1 3
12	市見	3 6	7	1 2	3	1 4
13	山形・見谷	3	2	1	0	0
14	藤尾	1 5	8	3	1	3
	合計	8 8 8	1 1 0	2 3 6	1 8 6	3 5 6

2015 年 (平成 27 年) 2 月 1 日現在

(4) 常金丸学区の人口の推移

年度		世帯数	人口
1970 年	昭和 45 年	852	4,009
1975 年	昭和 50 年	882	3,900
1980 年	昭和 55 年	884	3,860
1985 年	昭和 60 年	905	3,914
1990 年	平成 2 年	922	3,915
1995 年	平成 7 年	963	3,894
2000 年	平成 12 年	1,026	3,743
2005 年	平成 17 年	1,101	3,572
2010 年	平成 22 年	1,161	3,399
2014 年	平成 26 年	1,184	3,264

(住民基本台帳による)



※戸数と世帯数は相違します。

※2000 年から 2010 年までの 10 年間で 344 人の人口減となっています。年間 1 %, 10 年間で 1 割の減少です。

※二世帯同居の家庭が増え、世帯数は増加していますが、戸数は減少しています。

(5) 常金丸学区民の年齢構成

年齢区分	0～19 才	20～59 才	60～64 才	65～74 才	75～84 才	85～99 才	100 才以上
人数	495	1,389	339	465	356	217	3
構成比 %	15.2	42.6	10.4	14.2	10.9	6.6	0.1
				高齢化率 31.3 %			

2014 年 (平成 26 年) 6 月末現在

(6) 常金丸学区内児童数, 生徒数の推移

年度	常金丸小学校児童数	常金中学校生徒数
1975 年 (昭和 50 年)	2 9 7	1 5 2
1985 年 (昭和 60 年)	4 1 5	1 7 0
1993 年 (平成 5 年)	3 0 3	1 7 3
2003 年 (平成 15 年)	1 9 7	1 2 5
2013 年 (平成 25 年)	1 3 7	7 2
2014 年 (平成 26 年)	1 2 8	7 1

(7) 常金丸学区内の公共施設

施設名	所在地	電話番号
常金丸公民館	金丸 522-1	(0847) 57-8135
交流館つねかねまる	金丸 522-1	57-8820
元常コミュニティ館	常 1131-1	
常金丸小学校	金丸 684	53-8286
常金中学校	金丸 414	53-8122
常金丸保育所	常 1284-2	53-8002
常金丸駐在所	常 1761-4	53-8202
常金丸診療所（JA福山市）	常 1855-1	53-8170

5. アンケート調査及び住民学習会からみる現状と課題

先般実施した「アンケート調査」及び毎年行っている「地域別住民学習会」から常金丸学区の現状と課題を考えます。

(1) 常金丸学区の現状

- ・静かで穏やかな自然環境に恵まれ愛着を感じている（43.5％）
- ・人情の厚さ、地域の連帯感があり、近所づきあいがしやすい（22.7％）
- ・良好な治安や人間関係で防犯・防災面が安心（12.5％）
- ・地域行事で活気がある（8.1％）

など、豊かな自然環境、人情味あふれる人間関係があげられています。

(2) 常金丸学区の課題

- ・少子高齢化が顕著であり、交通の便も減少したことにより、高齢者の通院、買い物、通学支援等に不便を感じている（38.0％）
- ・道路環境が悪く、緊急車両の通行がままならない（18.2％）
- ・地域行事が多い（14.5％）
- ・防犯・防災面が不安である（5.9％）

など、高齢化率の上昇に伴い、老々介護などの生活不安や地域活動参加への不安があげられています。地域活動へ参加しやすい年代、参加し難い年代の両極化がみられます。

(3) 早急に取り組むべき課題

- ・緊急時に備えた道路網の整備 (30.7%)
- ・福祉を含めた安心できる生活環境づくり (21.0%)
- ・防犯・防災意識の啓発運動 (19.3%)
- ・交通事故防止への啓発運動 (11.3%)



空き家対策，耕作放棄地，インターネット環境の整備，緊急車輛通行のための道路網改善等の課題をかかえています。

またそれぞれの特色をもった小売店，職人の店がなくなり，活気がみられなくなりました。

(4) アンケート調査からの意見（抜粋）

①福祉・生活

- ・一人暮らし，高齢者二人暮らしの家庭が多くなり，家にこもりがち。



何んでもなくてもドアをノックして声かけをして欲しい。

- ・中山間地で空気がよく，緑も多い。
- ・『ゆめはっしゃ』や『キラキラサポーター』もあって，とてもいいところだと思う。

※ゆめはっしゃは未入所児対象子育てサークル，
キラキラサポーターは子育て支援ボランティア

②安心・安全

- ・地震，台風，津波，豪雨といった自然災害が少なく安心できる。
- ・防犯・防災等一度の声かけで全戸に連絡できる方法が欲しい。
- ・大雨等による地滑り，河川の氾濫，池の崩壊が心配である。

③環境

- ・ゴミの野焼き，犬や猫のフンの不始末が多くみられる。
- ・上・下水道の整備が進んでいない。このため個人の負担が多い。
- ・交通の便の減少に対する対策。緊急車輛通行のための道路網の整備が遅れている。
- ・インターネット環境の整備が全くできていない。
- ・夜間の明かりがない。防犯灯の設置が必要。

④活力・健康

- ・学区全体の活性化は大切だが、まず足元から。自治体、組からの連携ができてい
るのか見直しが必要ではないか。
- ・親睦運動会については、競技に参加できる人の確保が大変厳しい地区が多数ある。
交流を深める目的なら他の行事でも十分出来ると思います。
- ・「天神山の頂上を中心とした公園の設置」
学区民が年齢を問わず参加できる施設、学区外からも利用してもらえる施設。
例えば天神山を中心として東の蛇円山、西の七ツ池、地域の歴史や遺産を網羅し
たハイキングコースや遊歩道は作れませんか？

⑤教育・文化

- ・少人数で学習面は教えていただき易いが、スポーツ活動が少ないところが心配。
- ・いずれ親にかかる経費の問題だと思う。育児または保護施設が必要となる。完全
な設備をまず役所が力を入れて親子の安全・安心できる施設をつくるべきだと思
う。
- ・住民学習会での討論が欠ける。学習後、充実感がない。
- ・子どもが地域の自然とふれあい、子ども達自身が自分達で考え行動する力を身に
つけて欲しい。
- ・私が子ども時代に過ごした湧水が溢れた川を取り戻したいと思います。
- ・人権について基本が良く理解出来ていないように思う。まず、顔があったときの
挨拶、相手の呼び名、他人に対する心の表現で相手に敬意をもって接し、言葉態
度が出来ているか人間だれしも法のもと平等であり、人としての尊敬を守らねば
なりません。昔から習慣、なりゆきで無頓着になっていないか等々学ぶべき事が
多々あるように思います。映画をみての話し合いも結構ですが、とにかく基本か
らが必要のようになっていきます。

⑥その他

- ・まちづくりに若者の参加者が増えて欲しい。
- ・多方面にわたる方々の努力で住みよい常金丸になってきていると思いますが、世代が変わり、世の中も変化していくなかで、従来通りのやり方だけしては受け入れられない時になっているのも確かだと思います。立ち止まり、一つひとつの事業や取組を見直す時かもしれません。
- ・今後益々老人が多くなり、農業(耕作放棄地)、林業(山が荒れる)、家の荒廃(空き家の増加)、若者が住まなくなる傾向が増えた。これを逆手にとってセカンドハウスと家庭菜園を組み合わせたコロニーガーデンが作れないものか、自然、歴史遺産等を生かしたウォーキングコースなど自治会も出費せず、自然環境も変えず、他地区の若者や老夫婦との交流ができるようなまちづくりを望みます。
- ・小中学生が一緒になって、地域の人達との交流があればいいのにな？



(ゴミ^{ゼロ}0プロジェクト、にっこり笑おう会を企画・実施している)



6. 常金丸学区の将来像

住み慣れた地域で安心して安全に住み続けるという住民共通の願いを実現するためには解決すべき課題がたくさんあります。少子高齢化に伴う生活不安の解消や恵まれた自然環境の保持、防犯・防災対策、道路網の整備などが考えられます。

こうした課題の解決に「福山市のまちづくりの基本理念」に揚げられている一人ひとりが大切にされ、住みやすさが保障されるまちづくりの創造を目指して将来像を

～このまちに住んでよかった 常金丸～

と掲げてまちづくりに取り組んでいきます。



7. まちづくり計画策定の基本方針

将来像 **～このまちに住んでよかった常金丸～** の実現に向けてまちづくりを推進するにあたり、前項5（2）常金丸学区の課題、5（3）早急に取り組むべき課題をふまえ、次の分野ごとに取り組んでいきます。

取り組みにあたりましては、常金丸の英知を結集すべく自治会連合会をはじめ、学区まちづくり推進委員会を構成する関係諸団体と緊密な連携を図りながら推進します。

（1）福祉・生活

地域実態からみても高齢者・障がい者・子どもに対する生活支援、声かけ、見守り活動は緊急不可欠なものと考えます。お互いさまと言いあえる人間関係の構築を目指します。

分野	事業名又は事業内容	実施団体			目標達成期間			主な担当部署
		学区	協働	行政	短期	中期	長期	
福祉・生活	高齢者お出かけ支援事業		○		○			福祉を高める会 自治会連合会
	困りごと支援事業	○			○			福祉を高める会 ボランティアの会
	子育て支援事業		○		○			福祉を高める会
	救急医療情報事業		○		○			福祉を高める会 自治会連合会
	高齢者とのふれあい事業	○			○			福祉を高める会 ボランティアの会
	ふれあいいきいきサロン		○		○			福祉を高める会 各自治会(福祉会)
	障がい者サロン		○		○			身体障がい者連合会
	子育てサークル		○		○			キラキラサポーター 更生保護女性会
	ヤングボランティア体験学習		○		○			福祉を高める会
	福祉活動に関する研修事業		○		○			福祉を高める会 各自治会(福祉会)
	にっこり笑おう会	○			○			福祉を高める会

（2）安心・安全

幸いにしてこのまちは台風や地震、津波などの被害は免れてきましたが、地球温暖化による異常気象、とりわけゲリラ豪雨による河川の氾濫、山崩れなどの不安に対して最大の備えをしなければなりません。

また、車社会の進展で高齢者や学童の交通事故に遭遇する危険が増大しました。

災害に強いまちづくりにつとめます。

[避難に関する情報]

避難に関する情報には、次の3つがあります。

但し、発令前でも、身の危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難準備情報	避難準備自主避難の目安 避難行動に時間を要する人が、避難を開始しなければならない段階
避難勧告	すぐに避難を開始！ 通常の避難行動ができる人が、避難を開始しなければならない段階
避難指示	危険な状態今すぐ避難を!!! 人的被害の発生する危険性が非常に高い段階 直ちに避難が必要
土砂災害警戒情報 (広島県と広島地方気象台が共同発表)	土砂災害の危険が高まった時に発表 市町村は、避難勧告等の発令を判断、住民は自主避難を検討

[避難場所と避難所について]

名称	電話番号	避難場所			避難所	入所可能人数(人)
		土砂	洪水	地震		
常金丸小学校	53-8286		●	●	●	271
常金中学校	53-8122	●		●	●	567
常金丸公民館	57-8135	●	●		●	138
元常コミュニティー館	—	●	●		●	42
山形集会所	—		●		●	29
父尾集会所	—	●	●		●	46

避難場所…切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所

災害の種類によって避難場所の指定が異なりますのでご注意ください

避難所…災害により住宅を失った場合等において、一定期間避難生活をする場所



分野	事業名又は事業内容	実施団体			目標達成期間			主な担当部署
		学区	協働	行政	短期	中期	長期	
安心・安全	防災訓練・講演会		○		○			自主防災協議会 自治会連合会
	災害時避難支援	○			○			民生児童委員会 自治会連合会
	防犯対策事業		○			○		自治会連合会
	交通安全対策事業		○		○			交通安全自治会
	子ども 110 番の家		○		○			青少年育成員協議会
	通学児童の見守り	○			○			更生保護女性会 青少年育成員協議会
	救急救命法講演会		○		○			自主防災協議会 自治会連合会
	防災グッズの整備		○				○	自主防災協議会 自治会連合会
	緊急車両用の道路整備			○			○	自治会連合会
	通学路の整備		○				○	交通安全自治会 自治会連合会



(3) 環境

このまちは豊かな自然環境に恵まれています。これを維持していく取り組みはもはや地球規模の命題であります。ごみ対策，河川清掃，花いっぱい運動など，住民に安らぎを与えるためのまちづくりに取り組みます。

空き家対策，耕作放棄地対策等についても検討を重ねて行きます。

分野	事業名又は事業内容	実施団体			目標達成期間			主な担当部署
		学区	協働	行政	短期	中期	長期	
環境	川井谷クリーン作戦		○		○			公衆衛生推進委員会
	全市一斉清掃		○		○			公衆衛生推進委員会
	花いっぱい運動		○			○		自治会連合会
	家庭ごみ，ゴミステーション		○		○			公衆衛生推進委員会
	飼い犬の糞の処理対策		○			○		公衆衛生推進委員会
	ごみの野焼き防止対策		○			○		公衆衛生推進委員会 自治会連合会
	ゴミ ^{ゼロ} 0プロジェクト	○			○			公衆衛生推進委員会 青少年育成員協議会

(4) 活力・健康

核家族化の進展に伴い、住民同士、あるいは家族間でのふれあいが希薄になり、向こう三軒両隣の風潮が消えつつあります。

幸せな老後を迎えるためには健康であることが第一です。健康増進につながるスポーツ行事の開催や、伝統行事の継承、ふれあいまつりなど、明るく健康あふれるまちづくりを推進します。

また、常金丸学区内にそびえる天神山のいただきを目指したハイキングコースや遊歩道を造るなど活力や健康づくりを目指します。

分野	事業名又は事業内容	実施団体			目標達成期間			主な担当部署
		学区	協働	行政	短期	中期	長期	
活力・健康	親睦運動会	○			○			実行委員会
	学区一周駅伝大会	○			○			体育会
	ナイターソフトボール大会	○			○			体育会
	ソフトバレーボール大会	○			○			体育会
	学区グラウンドゴルフ大会	○			○			体育会
	学区夏まつり	○			○			実行委員会
	学区ふれあいまつり	○			○			実行委員会
	運動普及推進員による活動		○			○		運動普及推進員
	食生活改善推進員の活動		○			○		食生活改善推進員
	健康増進のための環境づくり		○				○	実行委員会

(5) 教育・文化

このまちには多くの古墳や史跡が残されており、早くから人の営みがあったことが証明されております。また、2010年（平成22年）には常金丸小学校創立100周年記念行事が盛大に開催されました。子ども達は地域の宝です。地域の子どもは地域が守るという気概をもって、家庭や地域の教育力の向上を図ります。

営々と築かれてきた先人達の努力に思いをはせながら、歴史と伝統文化を守り、郷土を愛する心を育む取り組みを推進します。



分野	事業名又は事業内容	実施団体			目標達成期間			主な担当部署
		学区	協働	行政	短期	中期	長期	
教育・文化	人権教育推進協議会運営委員・推進委員研修会		○		○			人権教育推進協議会
	地域別住民学習会	○			○			自治会連合会
	学校、家庭、地域連携事業		○			○		青少年育成協議会
	小地域三世代交流事業	○			○			福祉を高める会 各自治会(福祉会)
	小学校低学年地域の人々と交流	○			○			福祉を高める会 ボランティアの会
	わがまちウォーキング	○			○			公民館
	夏休み子ども教室	○			○			公民館
	歴史遺産の保護、紹介		○			○		自治会連合会
	通学通園児の安全確保		○			○		自治会連合会



「参 考」

◎「実施団体」の欄

学区：常金丸学区まちづくり推進委員会が主体性と責任を持って行う。

協働：常金丸学区まちづくり推進委員会と行政(国，県，市)が協力して行う。

行政：行政（国，県，市）が主体性と責任において行う。

◎「目標達成期間」の欄

短期：概ね3年以内に達成を目標とする。(継続事業を含む)

中期：概ね5年以内に達成を目標とする。

長期：概ね10年以内に達成を目標とする。

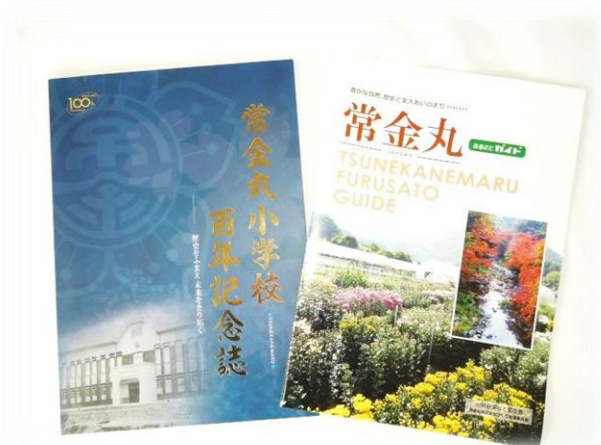
(6) その他

経済情勢の変化や、住民ニーズの変化によって新しく生まれた課題に対しましては、関係諸団体と協議のうえ、最善な対応をはかります。

【資料】

常金丸学区まちづくり推進事業 キーワードモデル事業の推移

年度	キーワード	事業名	事業内容
2006	活力	地域交流と健康増進事業	夏季・秋季ナイターソフトボール大会 学区グラウンドゴルフ大会 学区ソフトバレーボール大会
2007	活力	地域交流促進と 健康維持増進事業	夏季・秋季ナイターソフトボール大会 学区グラウンドゴルフ大会 学区ソフトバレーボール大会 常金丸学区一周駅伝
2008	福祉	世代間交流と福祉 ・体験活動事業	小地域三世代交流 小学校低学年と地域の人々と交流 世代間交流グラウンドゴルフ大会 ヤングボランティア研修 福祉研修会
2009	福祉	世代間交流と福祉 ・体験活動事業	小地域三世代交流 小学校低学年と地域の人々と交流 世代間交流グラウンドゴルフ大会 ヤングボランティア研修 福祉研修会
2010	教育	常金丸小学校 100周年記念事業	記念事業 記念式典 記念誌作成発行
2011	安心・安全	自主防災組織の編成強化と 災害時要援護者の避難支援事業	小地域避難支援・防災訓練の実施 災害時要援護者台帳の更新 大規模災害に向けた備品等の整備
2012	安心・安全	通学児童の安全確保と実働する 防災組織の編成強化と災害時要 援護者の避難支援事業	防災マップ作成 通学路の危険箇所点検と看板設置 災害時要援護者台帳の見直し 防災訓練実施 防災講演会の開催、避難訓練の実施
2013	活力	常金丸学区紹介リーフレット (マップ)の作成事業	事業内容や歴史・伝承行事・自然・ 史跡も記載したマップ作り



～魅力あふれる「常金丸」づくりをめざして！～ まちづくりアンケート調査集計表 （1076 名分）

問2 あなたの年代は

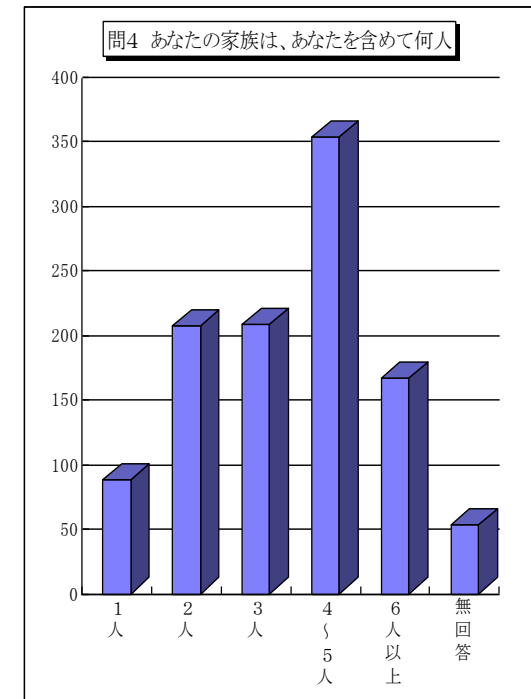
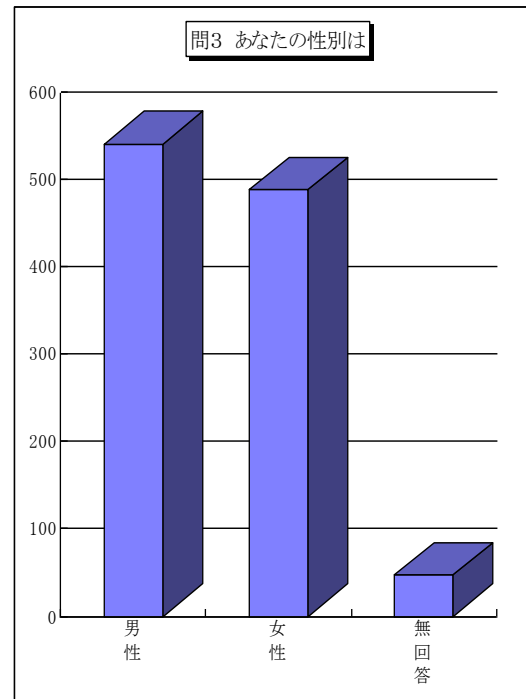
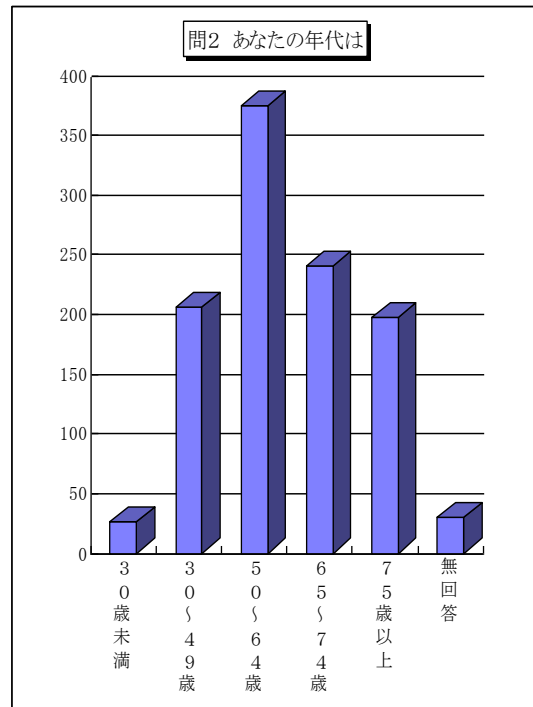
選択項目	人数	構成比
30歳未満	26	2.4%
30～49歳	206	19.1%
50～64歳	375	34.9%
65～74歳	241	22.4%
75歳以上	198	18.4%
無回答	30	2.8%
合計	1076	100.0%

問3 あなたの性別は

選択項目	人数	構成比
男性	541	50.3%
女性	488	45.4%
無回答	47	4.4%
合計	1076	100.0%

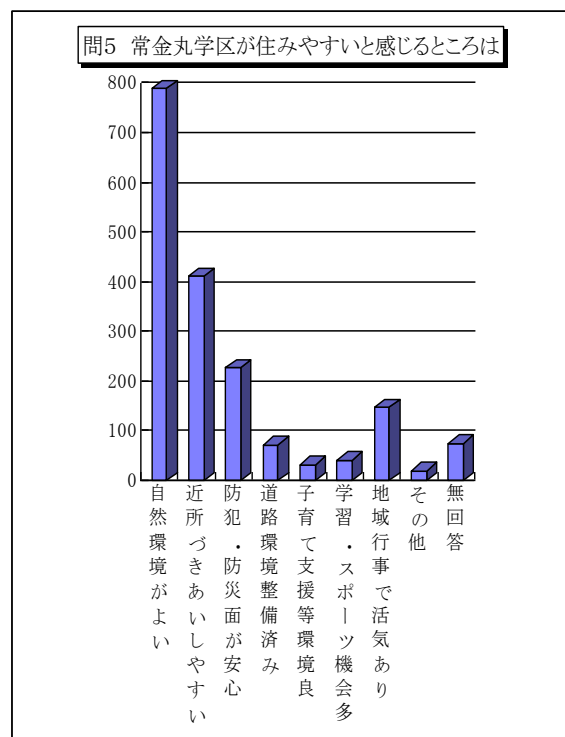
問4 あなたの家族は、あなたを含めて何人

選択項目	人数	構成比
1人	88	8.2%
2人	207	19.2%
3人	208	19.3%
4～5人	353	32.8%
6人以上	167	15.5%
無回答	53	4.9%
合計	1076	100.0%



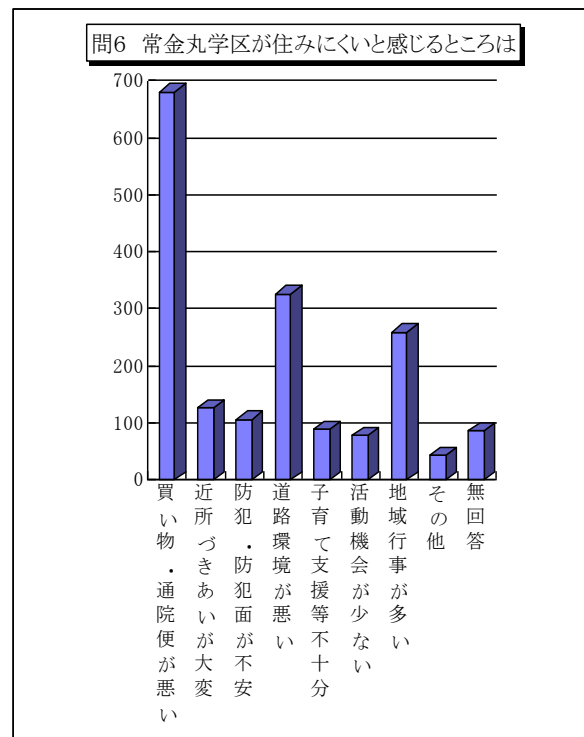
問5 常金丸学区が住みやすいと感じる場所は

選択項目	人数	構成比
自然環境がよい	788	43.5%
近所づきあいしやすい	411	22.7%
防犯・防災面が安心	227	12.5%
道路環境整備済み	71	3.9%
子育て支援等環境良	32	1.8%
学習・スポーツ機会多	41	2.3%
地域行事で活気あり	147	8.1%
その他	19	1.0%
無回答	74	4.1%
合計	1810	100.0%



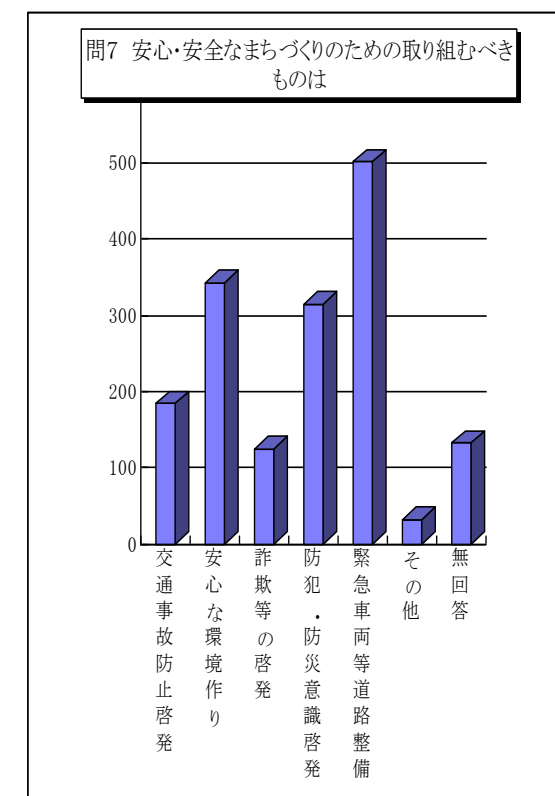
問6 常金丸学区が住みにくいと感じる場所は

選択項目	人数	構成比
買い物・通院便が悪い	681	38.0%
近所づきあいが大変	125	7.0%
防犯・防犯面が不安	105	5.9%
道路環境が悪い	326	18.2%
子育て支援等不十分	88	4.9%
活動機会が少ない	78	4.4%
地域行事が多い	259	14.5%
その他	43	2.4%
無回答	85	4.7%
合計	1790	100.0%



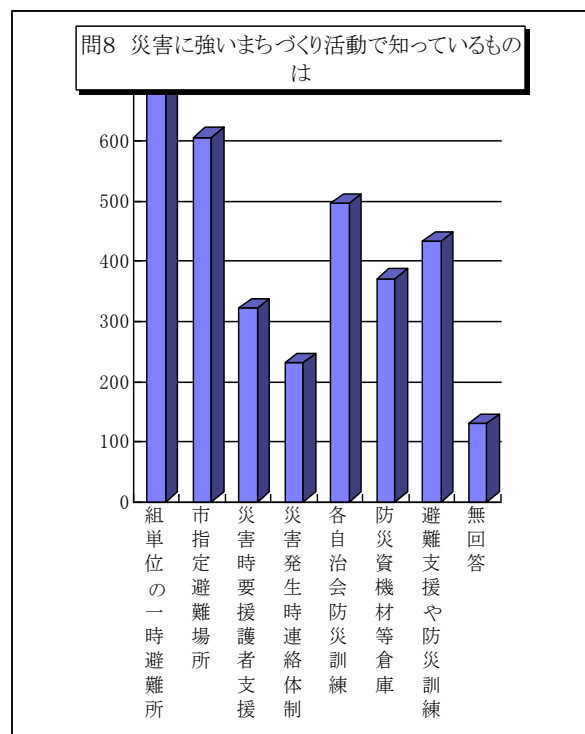
問7 安心・安全なまちづくりのための取り組むべきものは

選択項目	人数	構成比
交通事故防止啓発	184	11.3%
安心な環境作り	343	21.0%
詐欺等の啓発	125	7.6%
防犯・防災意識啓発	315	19.3%
緊急車両等道路整備	502	30.7%
その他	32	2.0%
無回答	133	8.1%
合計	1634	100.0%



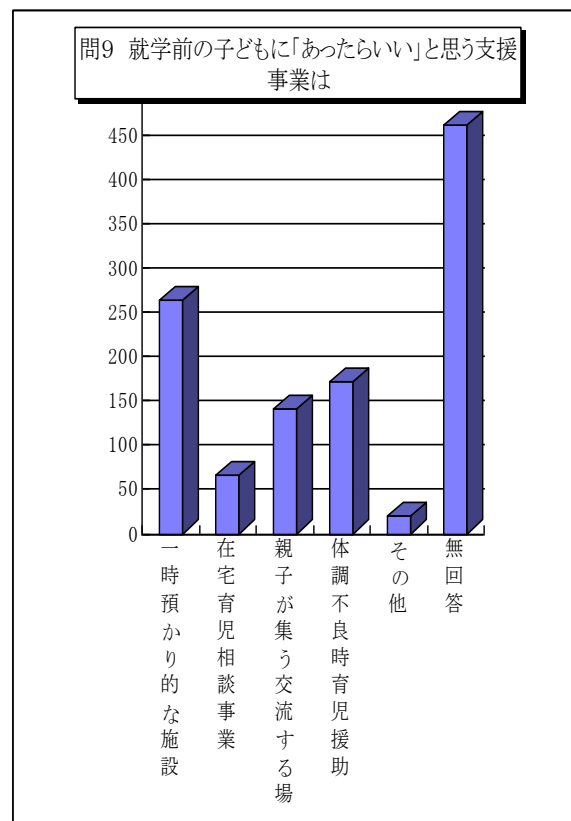
問8 災害に強いまちづくり活動で知っているものは

選択項目	人数	構成比
組単位の一時避難所	692	21.1%
市指定避難場所	606	18.5%
災害時要援護者支援	322	9.8%
災害発生時連絡体制	231	7.0%
各自治会防災訓練	496	15.1%
防災資機材等倉庫	371	11.3%
避難支援や防災訓練	433	13.2%
無回答	131	4.0%
合計	3282	100.0%



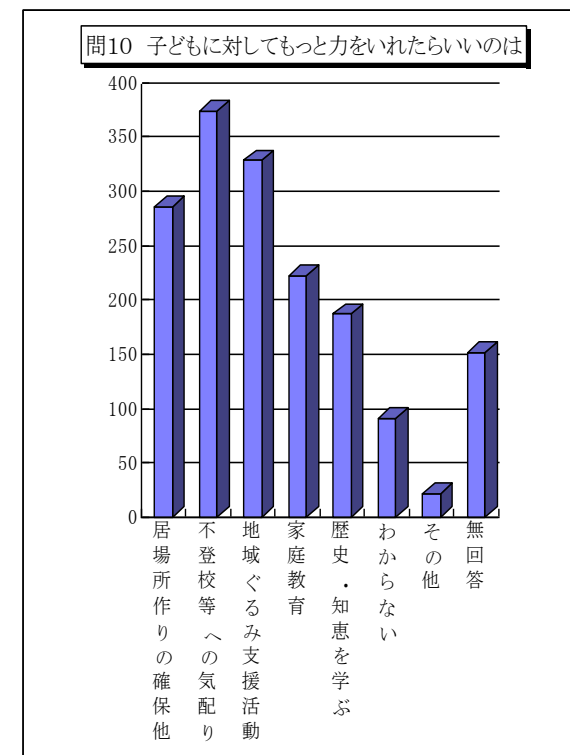
問9 就学前の子どもに「あったらいい」と思う支援事業は

選択項目	人数	構成比
一時預かり的な施設	263	23.4%
在宅育児相談事業	66	5.9%
親子が集う交流する場	141	12.6%
体調不良時育児援助	171	15.2%
その他	20	1.8%
無回答	461	41.1%
合計	1122	100.0%



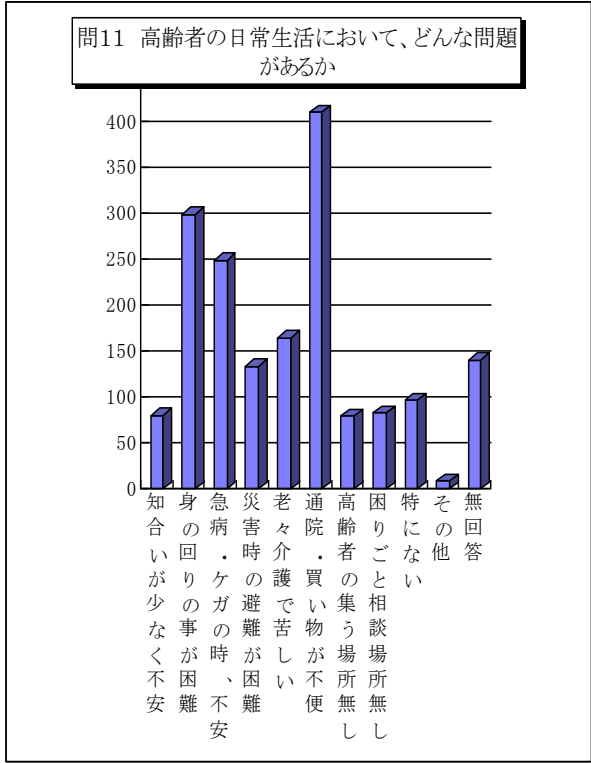
問10 子どもに対してもっと力をいれたらいいのは

選択項目	人数	構成比
居場所作りの確保他	286	17.2%
不登校等への気配り	374	22.5%
地域ぐるみ支援活動	328	19.7%
家庭教育	222	13.4%
歴史・知恵を学ぶ	187	11.3%
わからない	91	5.5%
その他	22	1.3%
無回答	152	9.1%
合計	1662	100.0%



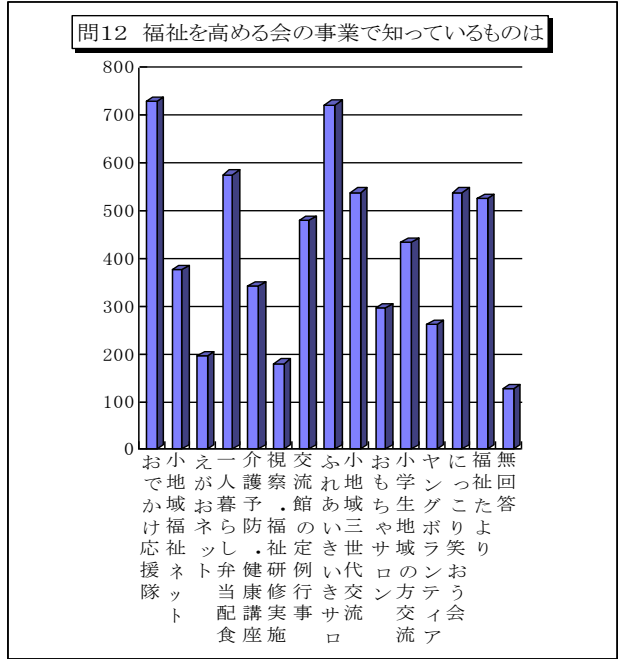
問11 高齢者の日常生活において、どんな問題があるか

選択項目	人数	構成比
知合いが少なく不安	80	4.6%
身の回りの事が困難	298	17.2%
急病・ケガの時、不安	248	14.3%
災害時の避難が困難	133	7.7%
老々介護で苦しい	164	9.4%
通院・買い物が不便	409	23.5%
高齢者の集う場所無し	79	4.5%
困りごと相談場所無し	82	4.7%
特にない	96	5.5%
その他	8	0.5%
無回答	140	8.1%
合計	1737	100.0%



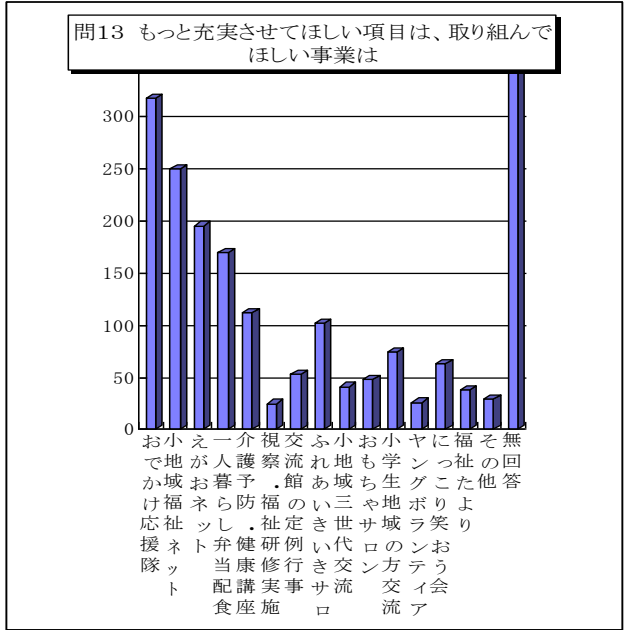
問12 福祉を高める会の事業で知っているものは

選択項目	人数	構成比
おでかけ応援隊	728	11.5%
小地域福祉ネットワーク	375	5.9%
えがおネット	195	3.1%
一人暮らし弁当配食	575	9.1%
介護予防・健康講座	341	5.4%
視察・福祉研修実施	180	2.9%
交流館の定例行事	479	7.6%
ふれあいいきいきサロン	721	11.4%
小地域三世代交流	537	8.5%
おもちゃサロン	295	4.7%
小学生地域の方交流	433	6.9%
ヤングボランティア	261	4.1%
にっこり笑おう会	538	8.5%
福祉たより	524	8.3%
無回答	127	2.0%
合計	6309	100.0%



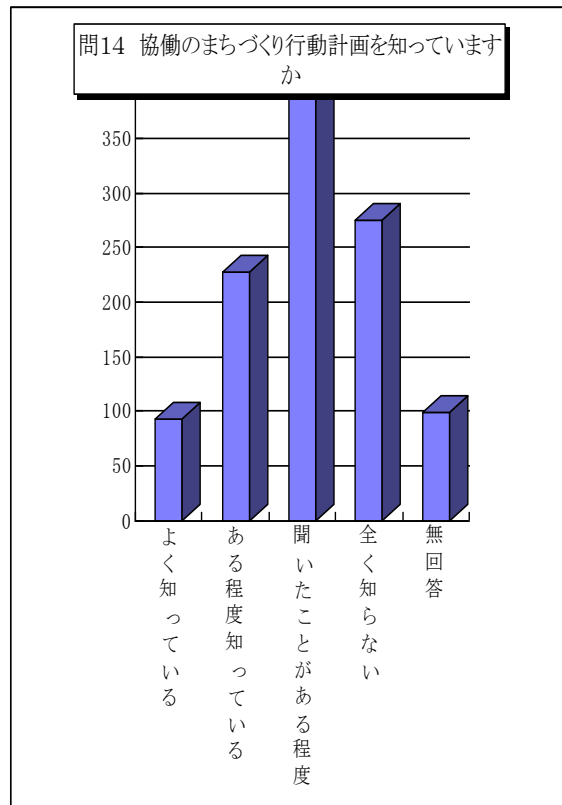
問13 もっと充実・取り組んでほしい事業は

選択項目	人数	構成比
おでかけ応援隊	317	16.8%
小地域福祉ネットワーク	249	13.2%
えがおネット	195	10.3%
一人暮らし弁当配食	169	9.0%
介護予防・健康講座	112	5.9%
視察・福祉研修実施	25	1.3%
交流館の定例行事	53	2.8%
ふれあいいきいきサロン	102	5.4%
小地域三世代交流	41	2.2%
おもちゃサロン	48	2.5%
小学生地域の方交流	74	3.9%
ヤングボランティア	26	1.4%
にっこり笑おう会	63	3.3%
福祉たより	38	2.0%
その他	29	1.5%
無回答	347	18.4%
合計	1888	100.0%



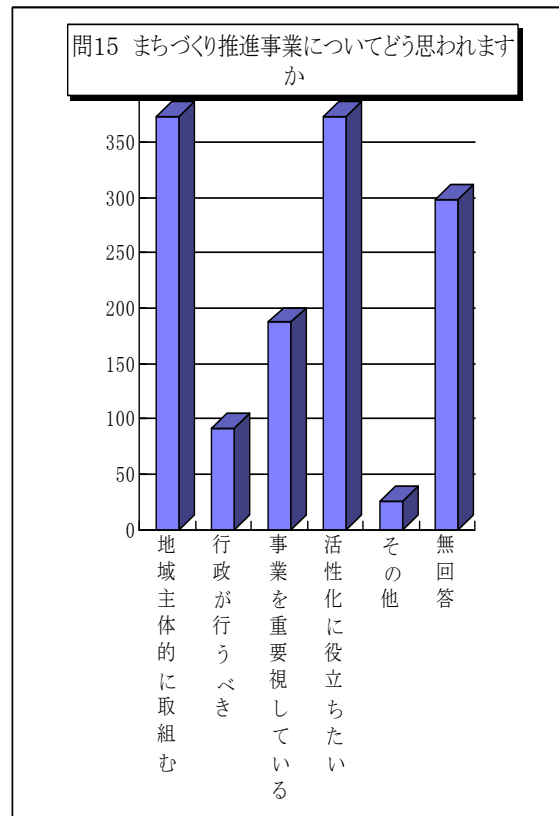
問14 協働のまちづくり行動計画を知っていますか

選択項目	人数	構成比
よく知っている	93	8.6%
ある程度知っている	228	21.1%
聞いたことがある程度	388	35.8%
全く知らない	275	25.4%
無回答	99	9.1%
合計	1083	100.0%



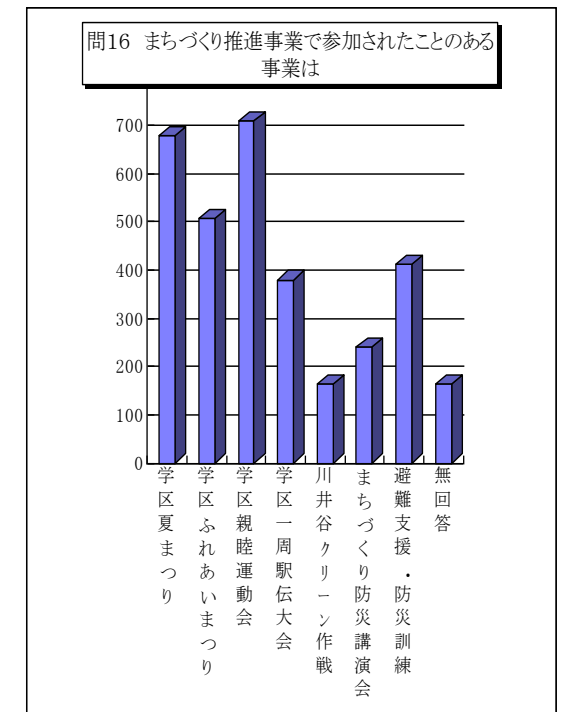
問15 まちづくり推進事業についてどう思われますか

選択項目	人数	構成比
地域主体的に取り組む	374	27.6%
行政が行うべき	92	6.8%
事業を重要視している	188	13.9%
活性化に役立ちたい	374	27.6%
その他	26	1.9%
無回答	299	22.1%
合計	1353	100.0%



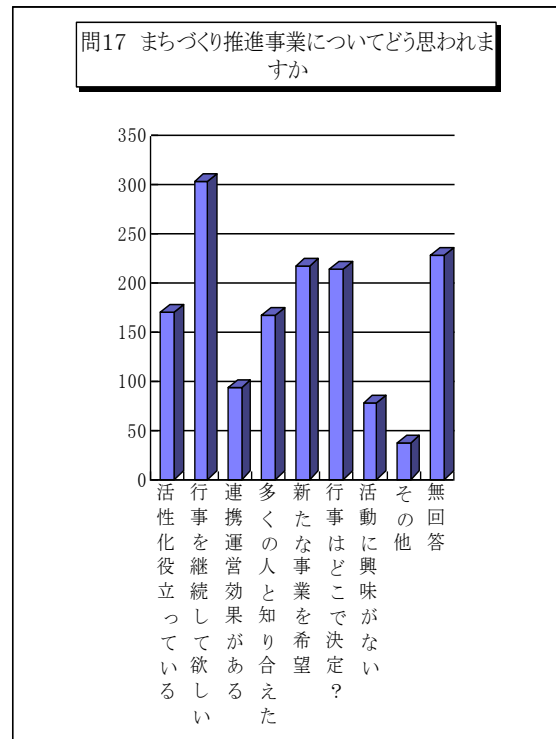
問16 まちづくり推進事業で参加されたことのある事業は

選択項目	人数	構成比
学区夏まつり	680	20.9%
学区ふれあいまつり	508	15.6%
学区親睦運動会	710	21.8%
学区一周駅伝大会	380	11.7%
川井谷クリン作戦	164	5.0%
まちづくり防災講演会	240	7.4%
避難支援・防災訓練	411	12.6%
無回答	165	5.1%
合計	3258	100.0%



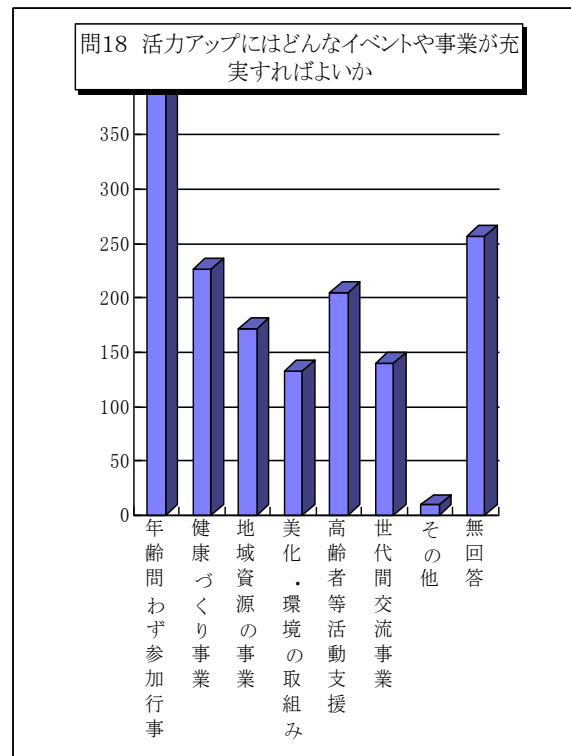
問17 まちづくり推進事業についてどう思われますか

選択項目	人数	構成比
活性化役立っている	170	11.3%
行事を継続して欲しい	303	20.1%
連携運営効果がある	93	6.2%
多くの人と知り合えた	167	11.1%
新たな事業を希望	216	14.4%
行事はどこで決定？	214	14.2%
活動に興味がない	77	5.1%
その他	37	2.5%
無回答	227	15.1%
合計	1504	100.0%



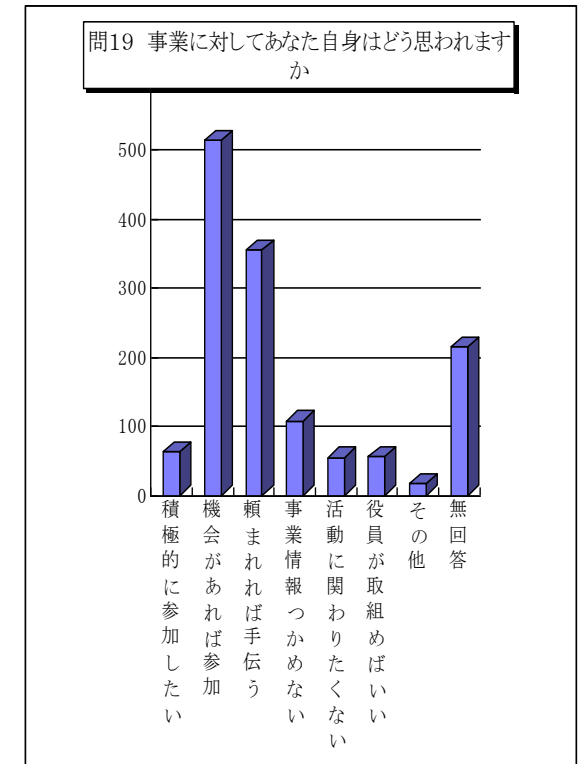
問18 活力アップにはどんなイベントや事業が充実すればよいか

選択項目	人数	構成比
年齢問わず参加行事	399	25.9%
健康づくり事業	227	14.7%
地域資源の事業	172	11.1%
美化・環境の取組み	133	8.6%
高齢者等活動支援	205	13.3%
世代間交流事業	140	9.1%
その他	10	0.6%
無回答	257	16.7%
合計	1543	100.0%



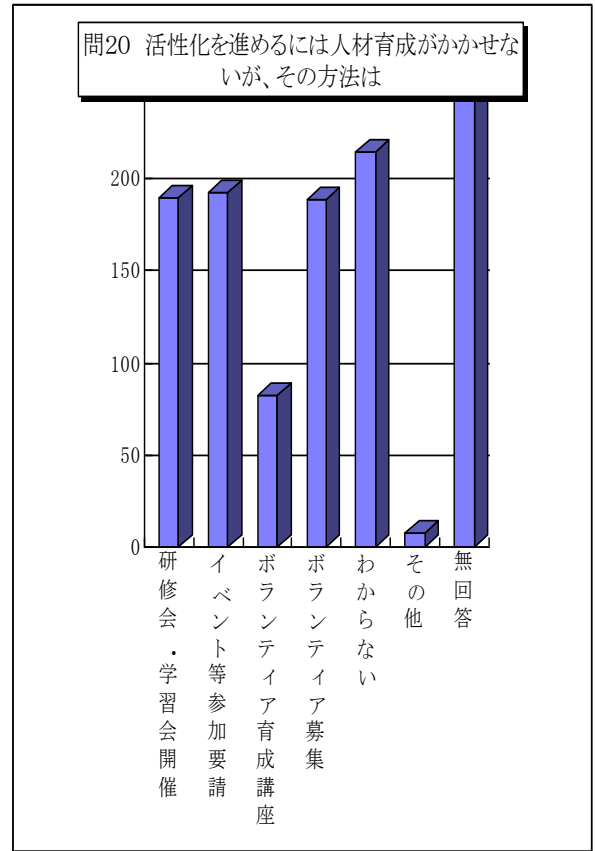
問19 事業に対してあなた自身はどう思われますか

選択項目	人数	構成比
積極的に参加したい	63	4.6%
機会があれば参加	513	37.1%
頼まれれば手伝う	355	25.7%
事業情報つかめない	108	7.8%
活動に関わりたくない	55	4.0%
役員が取組めばいい	56	4.1%
その他	17	1.2%
無回答	214	15.5%
合計	1381	100.0%



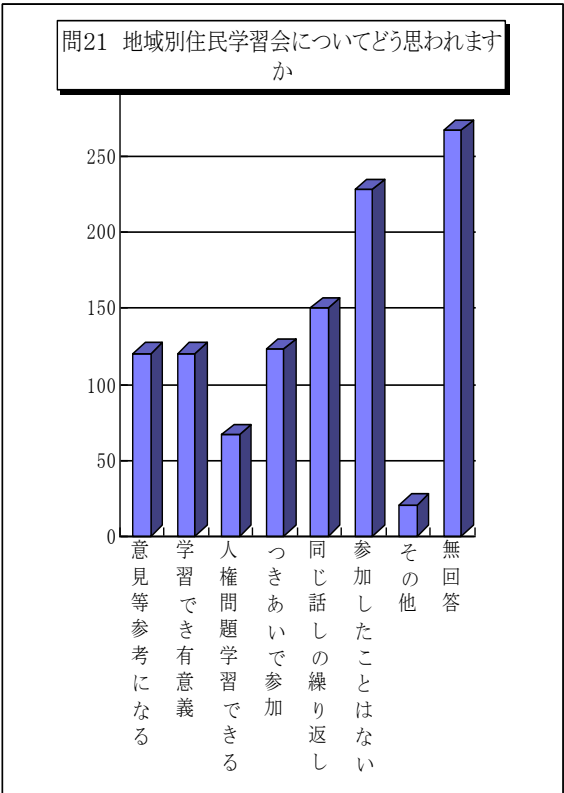
問20 活性化を進めるには人材育成がかかせないが、その方法は

選択項目	人数	構成比
研修会・学習会開催	190	16.9%
イベント等参加要請	193	17.2%
ボランティア育成講座	82	7.3%
ボランティア募集	189	16.8%
わからない	215	19.1%
その他	8	0.7%
無回答	246	21.9%
合計	1123	100.0%



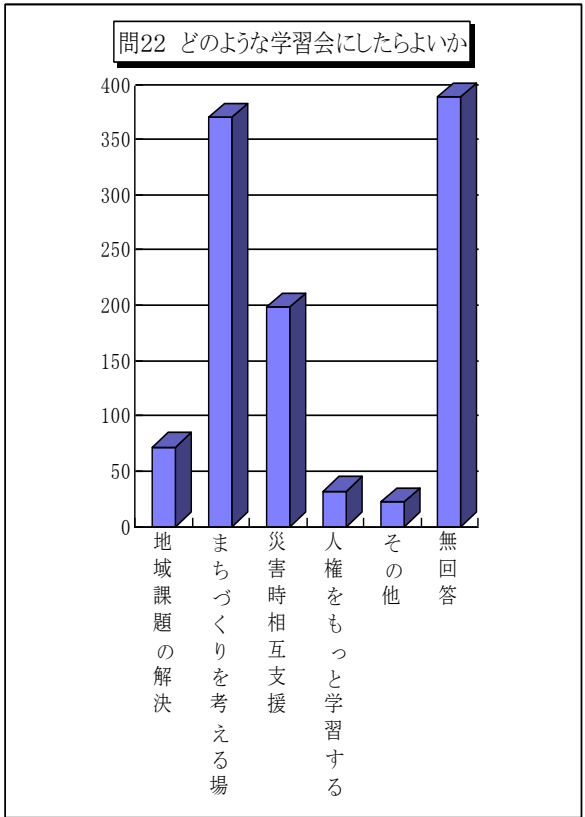
問21 地域別住民学習会についてどう思われますか

選択項目	人数	構成比
意見等参考になる	120	10.9%
学習でき有意義	120	10.9%
人権問題学習できる	67	6.1%
つきあいで参加	123	11.2%
同じ話しの繰り返し	150	13.7%
参加したことはない	228	20.8%
その他	21	1.9%
無回答	267	24.4%
合計	1096	100.0%



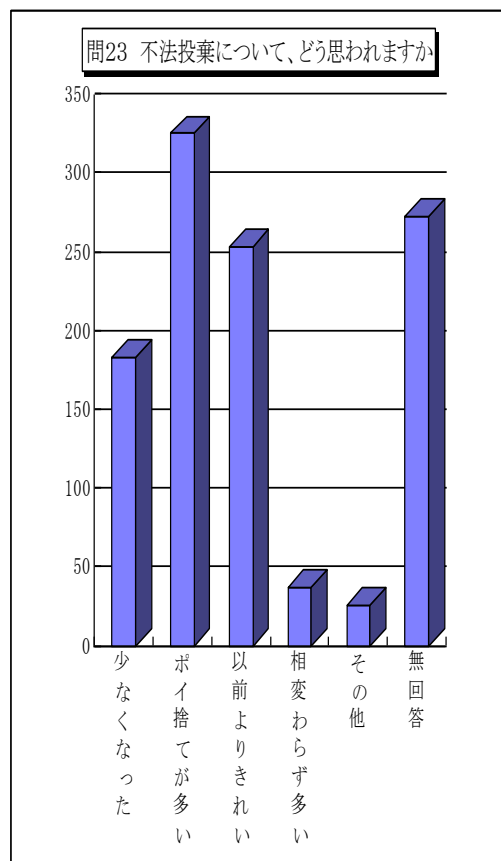
問22 どのような学習会にしたらよいか

選択項目	人数	構成比
地域課題の解決	72	6.6%
まちづくりを考える場	370	34.2%
災害時相互支援	198	18.3%
人権をもっと学習する	32	3.0%
その他	22	2.0%
無回答	389	35.9%
合計	1083	100.0%



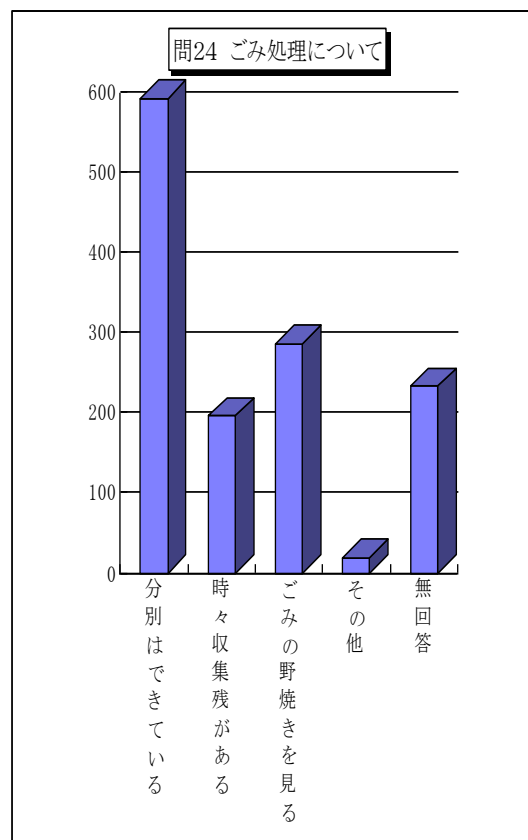
問23 不法投棄について、どう思われますか

選択項目	人数	構成比
少なくなった	183	16.7%
ポイ捨てが多い	325	29.7%
以前よりきれい	253	23.1%
相変わらず多い	37	3.4%
その他	26	2.4%
無回答	272	24.8%
合計	1096	100.0%



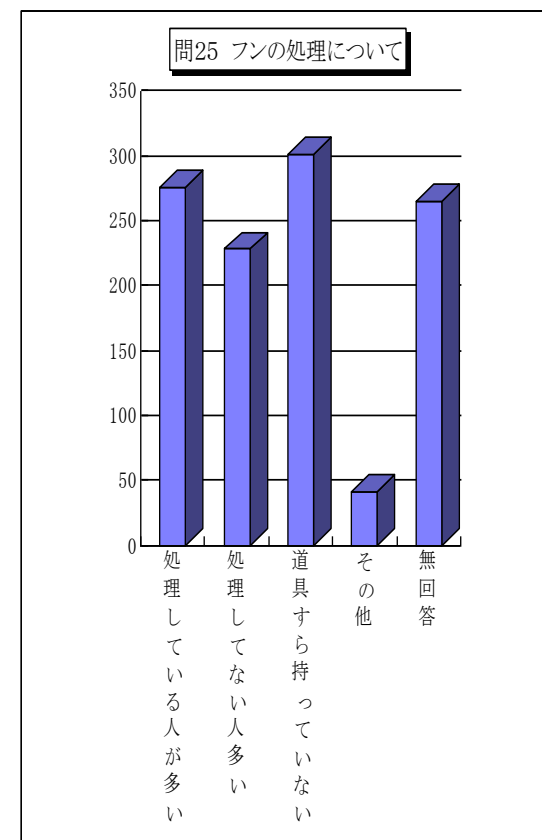
問24 ごみ処理について

選択項目	人数	構成比
分別はできている	592	44.6%
時々収集残がある	196	14.8%
ごみの野焼きを見る	286	21.6%
その他	19	1.4%
無回答	233	17.6%
合計	1326	100.0%



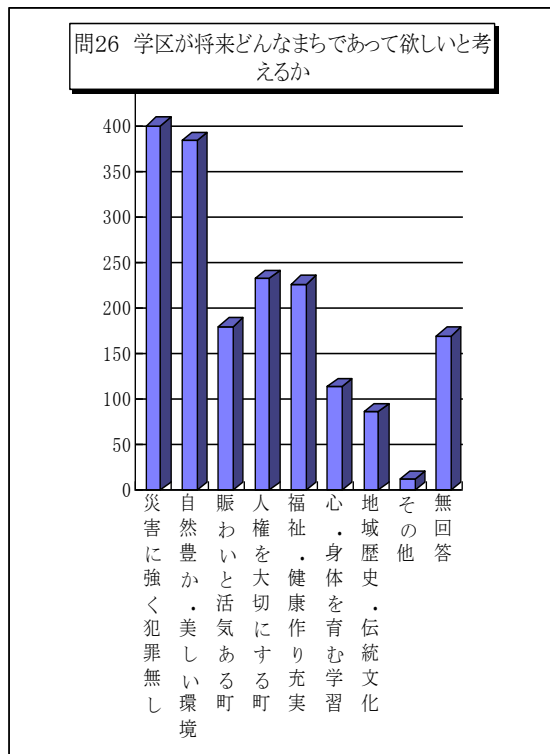
問25 フンの処理について

選択項目	人数	構成比
処理している人が多い	275	24.8%
処理していない人多い	228	20.5%
道具すら持っていない	301	27.1%
その他	41	3.7%
無回答	265	23.9%
合計	1110	100.0%

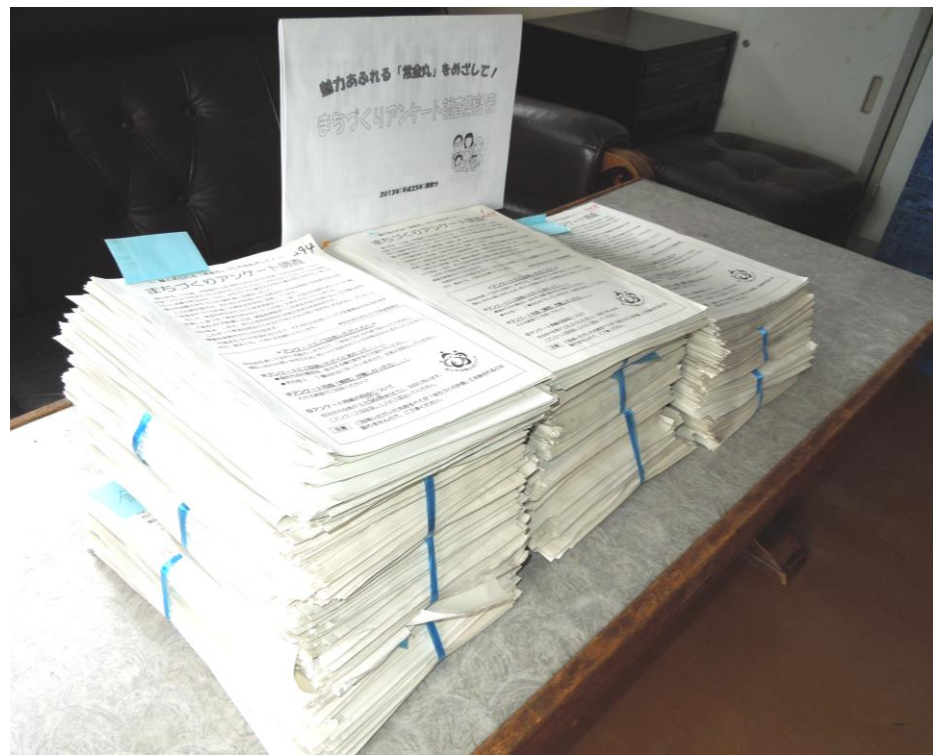


問26 学区が将来どんなまちであって欲しいと考えるか

選択項目	人数	構成比
災害に強く犯罪無し	401	22.2%
自然豊か・美しい環境	385	21.3%
賑わいと活気ある町	180	10.0%
人権を大切に作る町	233	12.9%
福祉・健康作り充実	227	12.6%
心・身体を育む学習	114	6.3%
地域歴史・伝統文化	86	4.8%
その他	12	0.7%
無回答	170	9.4%
合計	1808	100.0%



策定委員会の様子



集約されたアンケート用紙

《アンケートについて》

調査時期 2013年3月

回収数 1076件

回収率 119%

※二世帯同居は複数回答をいただきました

～常金丸小学校 4 年～ 6 年生へのアンケート結果と意見～

Q. みなさんが住んでいる常金丸学区をどんなまちにしたいですか？

一番多かった意見：緑や花など自然を保ち、美しく豊かなまち

次に多かった意見：自然がいっぱいでみんなが笑顔で暮らせる



「ポイ捨て」ゴミのないまち

バリアフリーなまち

楽しく、平和で、安全に住めるまち



その他…

- ・みんなが元気で、地域 みんなが仲良く過ごせるまち
- ・あいさつができるまち
- ・自然がいっぱいある、このままが良い
- ・自然が豊かで川がきれい
- ・犯罪・事故がおこらないまち
- ・平和で豊かな常金丸学区にしたい
- ・環境が良く、仲のいい学区
- ・自然が豊かで、動物や生き物が住みやすく、空気がいいまち
- ・子どもからお年寄り、障がいをもっている人も楽に暮らせる
- ・一人ひとりが優しく、気さくに声をかけてくれるまち
- ・みんなが住みやすくなるエレベーターがたくさんあるまち
- ・きれいで環境が良く、住みやすく人々が優しい学区
- ・楽しく賑やかでお祭りがたくさんあるまち
- ・自然を増やし、自然の中で遊べるまち
- ・ふつうの田舎、いつも通りの平凡なまち

- ・きれいなまち
- ・ハイテクのまち
- ・菊の花がいっぱいのまち
- ・みんなが豊かに暮らせるまち
- ・人気のあるまち
- ・足りない物のないまち
- ・観光者が多いまち
- ・学校を大きくする
- ・バラを多くしたい
- ・お店を増やしたい
- ・規則をまもる常金丸
- ・子どもがもっと増えてほしい
- ・みんながつながり合っているまち
- ・危険な場所のない常金丸学区
- ・「住んでよかった」という声を増やす
- ・みんなが楽しく健康で暮らせるまち
- ・たくさんの人が訪れる観光スポット

Q. そのためにはどんな行事があったらいいですか？

一番多かった意見：ゴミ拾い大会

次に多かった意見：自然に触れあう行事



(山登り・自然観察・自然祭・虫とり大会・キャンプ・探検)

川の清掃(川探検・魚釣り大会)

その他…

- ・祭り（屋台・踊り）
- ・スポーツ大会（運動会・球技大会）
- ・学区スタンプラリー
- ・段差を削る（バリアフリー）
- ・山の清掃（手入れ）
- ・あいさつ運動
- ・みんなが集まって触れあう行事
- ・カラオケ大会
- ・暮らしやすくなる行事
- ・ゴミを利用してバス停づくり
- ・ポスターを作り、いい物を選んでまちに貼る行事
- ・おじいちゃん、おばあちゃんと触れあう
- ・木や花などを植え保護する運動
- ・福山市に 100 周年の記念碑をつくる
- ・平和にするためにどうするかを話す
- ・自然を残し生活が便利になる建物をたてる
- ・リサイクル・リユース・リデュースをする
- ・常金丸の良いところを発信していく新聞を発行
- ・バラで迷路をつくり、優勝した人には景品のバラを百本あげる
- ・まちを整備して、どのように安全に暮らせるか考える
- ・重たそうにしていたら荷物を持ってあげたらいい
- ・子どもからお年寄りまで、楽しく遊べる行事
- ・初対面の人でも友達になれる行事
- ・みんなが外に出て、みんなとしゃべる
- ・バリアフリーの家を建て気に入ったら購入できる
- ・草取りをする
- ・自転車レース
- ・お菓子投げ
- ・みんなが楽しめる行事
- ・みんなに感謝を届ける行事

～常金中学校 1・2 年生へのアンケート結果と意見～

Q. みなさんが住んでいる常金丸学区をどんなまちにしたいですか？

一番多かった意見：緑(自然)が豊かで川がきれいなまち

次に多かった意見：自然が豊かで活気のあるまち

このままの自然を守っていく

年齢関係なく、ふれあい、地域みんな仲の良いまち



その他…

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・今のまま変えなくて良い ・もっと他の地域との交流を増やす ・あいさつのできるまち ・年寄りと交流できるまち ・笑顔いっぱいあふれるまち ・お年寄りを大切にするまち ・道路を広くする（整備） ・思いやりをもち、支えあい助け合うまち ・みんなが常金へ引っ越したい！と思えるまち ・明るくきれいなまち ・お店が増えてほしい ・心が豊かで優しい人々の住むまち ・楽しいまち ・みんなが祭りに参加する ・有名なものがあるまち | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが楽しく暮らせるまち ・人気のあるまち ・知らない人がいないまち ・人々が平等で暮らせる ・年寄りから子どもまでこのまちにいて良かったと思えるまち ・都会化 ・ホテルをつくる ・温泉をつくる ・でかいスーパー ・学校をきれいにする ・売る物を増やす ・古墳や金名の郷頭などをPRする ・信号をふやす ・信号いらない |
|--|--|



Q. そのためにはどんな行事があったらいいですか？

一番多かった意見：まつり

次に多かった意見：木を植える行事、お年寄りとふれあう行事

常金丸全体体育大会、菊祭り

今ある行事を続ける



その他…

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・若い人とお年寄りの会合を開く ・ほたる祭り 復活 ・川をきれいにする ・中学生も参加できる行事 ・常金丸一周駅伝を続けてほしい ・町内クリーン活動 ・地域全体でできる活動 ・森・山を探検してみる ・思いやり週間（あいさつ・困っている人を助ける） ・にっこり笑おう会のバージョンアップ ・気軽に参加できる行事 | <ul style="list-style-type: none"> ・月に1度の交流会 ・山や川など自然を見てまわる行事 ・ボランティア ・自分にできる事からはじめていく ・清掃活動 ・地域での発表会 ・地域おこし ・自然を生かし、みんなで参加できる行事 ・自然保護活動 ・三世代交流 ・フェスティバル |
|--|---|



常金丸学区まちづくり推進委員会構成団体

常金丸学区自治会連合会	常金丸学区福祉を高める会
常金丸学区体育会	常金丸学区女性会
常金丸学区公衆衛生推進委員会	常金丸小学校 P T A
常金丸学区青少年育成協議会	常金中学校 P T A
常金丸学区老人クラブ連合会	常金丸学区ボランティアの会
常金丸学区自主防災協議会	防火協会常金丸・藤尾支部
常金丸学区民生児童委員会	常金丸学区在住行政職員の会
常金丸学区身体障がい者連合会	常金丸学区更生保護女性会
常金丸学区交通安全自治会	常金丸保育所保護者会
常金丸公民館	

◇まちづくり推進委員会とは

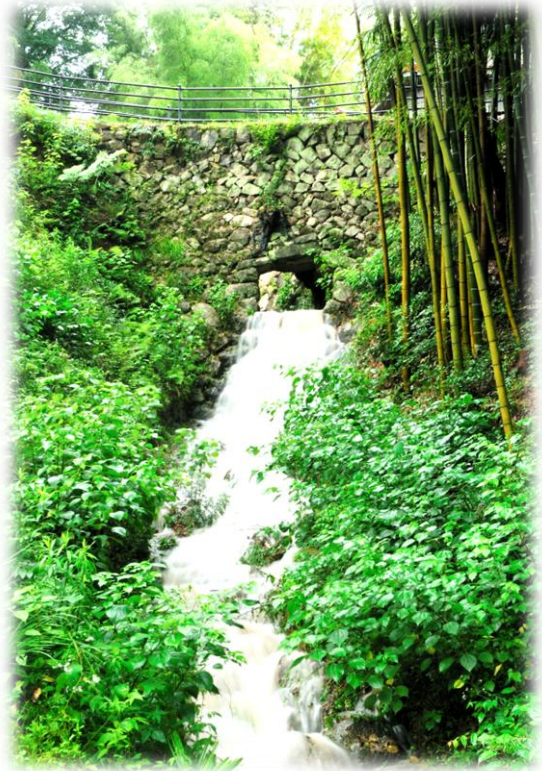
まちづくり推進委員会（以下「委員会」という）は、地域みなさんが身近な地域課題を考え、解決に向けた取組を進めていくうえで、中心的な役割を担う組織です。

委員会は、小学校区を基本に、自治会をはじめ各種団体等で構成されており、例えば特定の団体だけでは対応できない課題や、教育、環境、福祉、活力、安心、安全など地域に共通する課題の解決に向けた取組を行うとともに、地域の活性化に向けた取組やコミュニティーの育成を行っています。





藤尾の滝(二の降)



金名の郷頭



厚山の宝篋印塔



菊の圃場



幟入れ



福山サンブランドのアスパラガス



常金丸学区まちづくり計画

2015年（平成27年）3月

発行 常金丸学区まちづくり推進委員会

福山市新市町金丸522番地1

0847-57-8135